

11月30日は、「絵本の日」です！

「絵本の日」の今月は、司書インターンとして職業体験中のジョブネーム「みゆ」より、みなさまといつか読みあいたい一冊を紹介いたします。ナンセンス絵本の神様・長新太さんの『キャベツくん』です。リズムカルなストーリーに、「次はどうなるのかな？」というワクワクや、クスッと笑いを届けてくれる、子どもにも大人にも大人気な絵本です。

絵本作家を目標に、絵本について学び始めたなかで、絵本は親子の「楽しい」を引き出し、**笑顔の連鎖**を生み、お互いの「大好き」を認識する素敵なツールであるということを目の前にいる、たくさんさんの親子に教えていただいています。赤ちゃんおはなし会では、絵本の**楽しい**を最大限引き出すために、擬音語をたくさん使い、言葉のシャワーを浴びせて、さらに声のトーン、アイコンタクトや**笑顔**など、司書には凄まじい技量が必要だということを学びました。私もみなさまのお力をお借りして、早く読み語りマスターになり、**笑顔**を支えられる司書になります。よろしくお願いいたします。

インターンみゆ

## 11月のおすすめ



『キャベツくん』  
長新太 文・絵  
(文研出版)

大きく広がっているお空や、地平線を眺めながら、みなさんは何を考えますか？

## 「絵本の日アワード2026」授賞式開催

開催日 11月29日(日)

授賞式翌日には、受賞作品を  
ビブリオホームページで発表します。

## ペンギンクイズ

コウテイペンギンのヒナは親ペンギンの足の上で過ごしていますが、それには理由があります。次のうち、どれでしょうか。

- ①一緒に移動するため
- ②寒さから身を守るため
- ③天敵から身を守るため



## クイズのこたえ②

ペンギンのヒナは寒さに弱い  
ため、雪や氷の上に直接、足を乗せることができません。  
寒すぎて命を落とすこともあります。だから、親ペンギンの足の上に乗って、寒さから身を守っているのです。

参照:『世界一おもしろいペンギンのひみつ』上田一生 監修  
ペンギン飛行機製作所製作  
(サンマーク出版) 記事ふく

## 今月のビブリオラボ 「絵本の日」絵本展

期間: 11/2 ~ 11/30



「絵本の日」制定から5周年の2017年に創設した絵本の賞が、「絵本の日アワード」です。「絵本の力」がもっともっと社会に広がることを願って、「絵本にまつわるエピソード」を公募する文化活動が、今年、第10回の節目を迎えました。この10年の受賞作品を一堂に展示します。

## 「絵本の日アワード」 第1回グランプリ絵本



『しろいうさぎとくろいうさぎ』  
ガース・ウィリアムズ作・絵  
松岡享子 訳 (福音館書店)

親になってから思い出すあの頃のこと、あたたかな記憶、はっと気づく親の愛、よみがえる親の声とまなざし。くすぐったくなる幼少期の自分。そして親に読んでもらった絵本を今、わが子と読みあう幸せ。  
絵本には、その絵本がもつ物語と同時に、読んだ人に生まれる、まったく新しい物語があります。それはときに、予測もつかない物語です。絵本は、子どもだけのものではありません。

日本に、最初の「絵本ブーム」が訪れてから60年。当初、「子どものために」とつくられていた絵本ですが、いまや絵本は、大人のためのものでもあります。

大人たちの胸のなかに大切にしまわれていた「絵本にまつわるエピソード」は、もうひとつの「絵本のものごと」です。今月のビブリオラボは、愛と感動、真実と生きる力にあふれています。

紙面全文責・司書あん

## 「絵本の日アワード」 第2回グランプリ絵本



『ラヴ・ユー・フォーエバー』  
ロバート・マンチ作  
梅田俊作 訳 乃木りか訳  
(岩崎書店)



『絵本はホスピタリティの宝箱;エピソード 33』  
医療法人元気が湧く編  
(かもがわ出版)